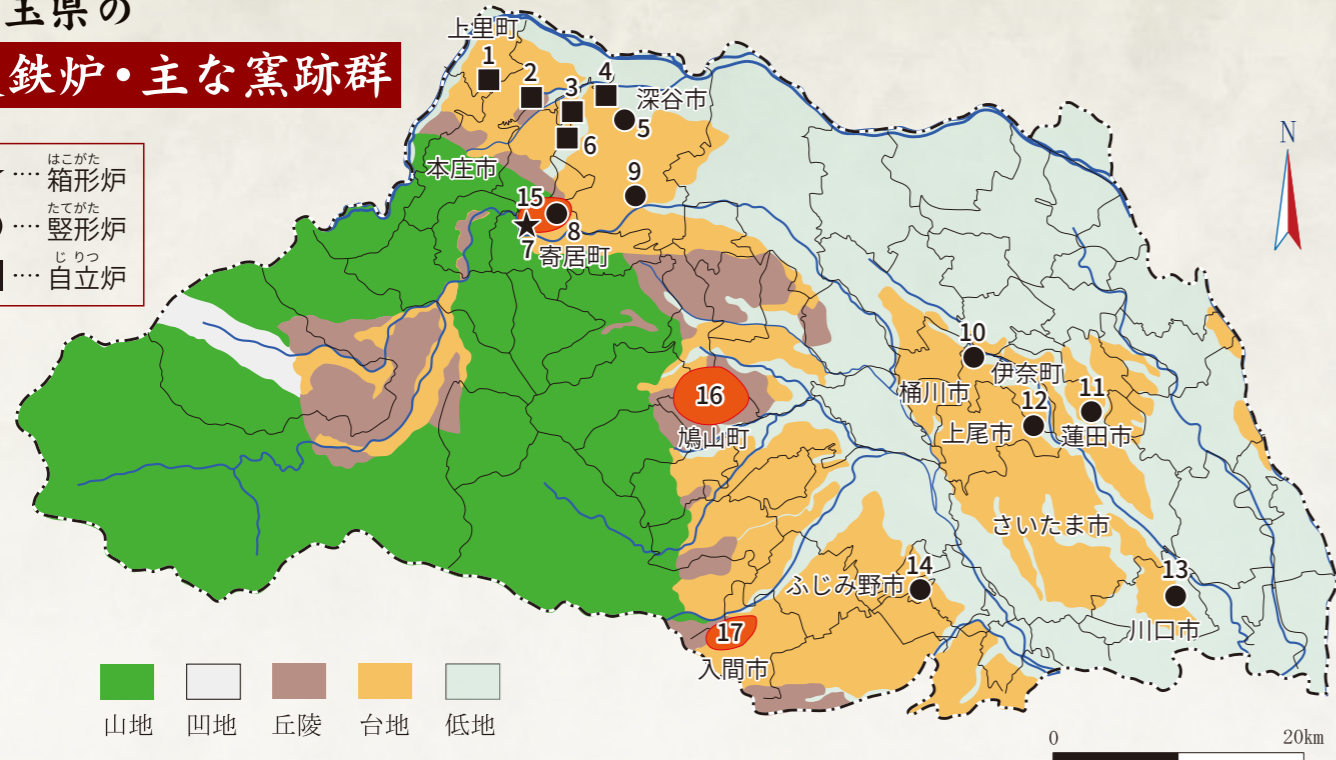


埼玉県の

製鉄炉・主な窯跡群

- ★ …… 箱形炉
- …… 竪形炉
- …… 自立炉

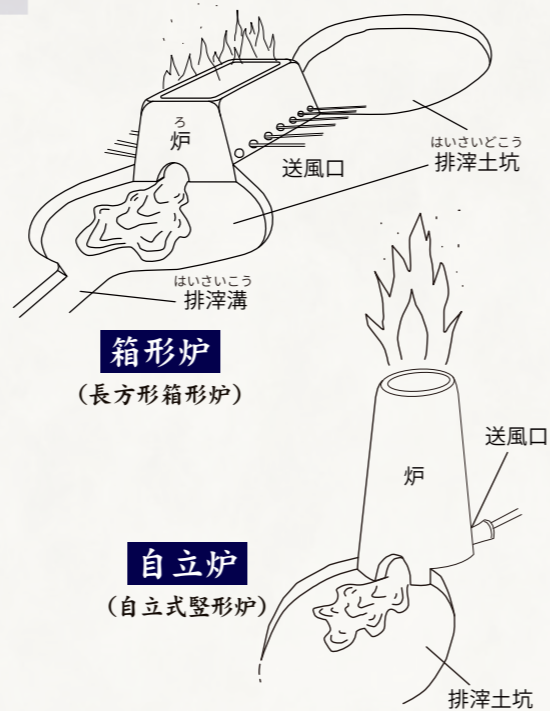


- | | | | | | | |
|------------|-----------|-------------|-------------|----------|----------|-----------|
| さいかちはら | ひのきした | おおくぼやま | にしうらきた | なかじゆく | すがわら | みやにし |
| 1. 梶原・榎下遺跡 | 2. 大久保山遺跡 | 3. 西浦北遺跡 | 4. 仲宿遺跡 | 5. 菅原遺跡 | 6. 宮西遺跡 | |
| はこいし | なかやま | だいこうち | みやのわき | つばきやま | おおやま | さるがいきた |
| 7. 箱石遺跡 | 8. 中山遺跡 | 9. 台耕地遺跡 | 10. 宮ノ脇遺跡 | 11. 椿山遺跡 | 12. 大山遺跡 | 13. 猿貝北遺跡 |
| ひがしだい | すえのようせきぐん | みなみひきようせきぐん | ひがしかねこうせきぐん | | | |
| 14. 東台遺跡 | 15. 末野窯跡群 | 16. 南比企窯跡群 | 17. 東金子窯跡群 | | | |

県内では、寄居町箱石遺跡で検出された7世紀末の箱形炉が最古の製鉄炉です。箱石遺跡での鉄生産は武蔵国内の官衙の整備に伴って始められたと考えられます。

次に登場する竪形炉（半地下式竪形炉）は、8世紀第2四半世紀の桶川市宮ノ脇が県内最古の事例です。宮ノ脇遺跡を皮切りに、伊奈町大山遺跡などの荒川流域で8世紀後半から9世紀にかけて竪形炉による鉄生産が行われました。

10世紀になると、深谷市西浦北遺跡や本庄市大久保山遺跡など、榛沢郡域や児玉郡域で自立炉（自立式竪形炉）での鉄生産が行われます。後に活躍する中世の武士団との関係が伺われます。



令和7年度 ほるたま展

発掘!!
さいたま出土品展

古代のものづくり



令和7年度 ほるたま展 | 開催日程 |

- 第1部** そごう大宮店 (さいたま市) 3階連絡通路
令和7年 8月15日(金)・16日(土)・17日(日)
- 第2部** モラージュ菖蒲 (久喜市) 3階滝のコート前広場 (サーティワン前)
令和7年 10月17日(金)・18日(土)・19日(日)
- 第3部** ららぽーと富士見 (富士見市) 2階ベイフロア前
令和7年 11月14日(金)・15日(土)・16日(日)
- 第4部** さきたま史跡の博物館 (行田市) 企画展示室
令和7年 12月13日(土) → 令和8年 2月1日(日)
休館日: 月曜日(祝日を除く)・年末年始(12/29~1/3)

主催 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
共催 埼玉県教育委員会
久喜市教育委員会
富士見市教育委員会
協力 そごう大宮店・モラージュ菖蒲・三井ショッピングパーク ららぽーと富士見
令和7年8月7日 発行
編集・発行 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108 埼玉県熊谷市船木4丁目4番地1
TEL 0493-39-3955
URL <https://www.saimaibun.or.jp>

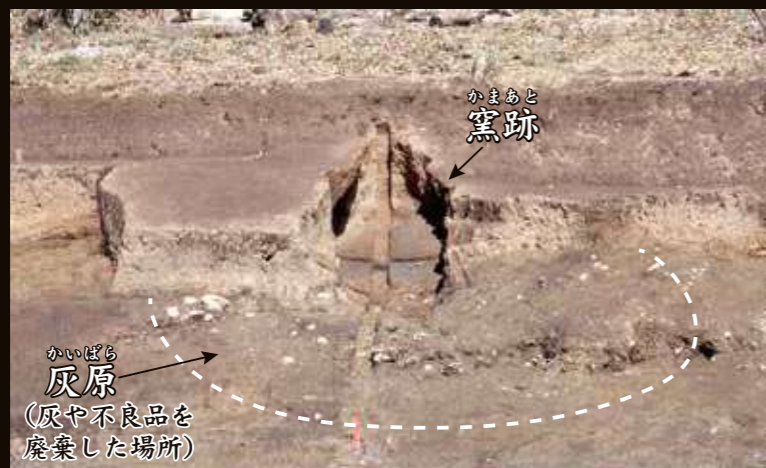
公益財団法人
埼玉県埋蔵文化財調査事業団
Saitama Archaeological Research Foundation



当事業団は今年で創立45周年を迎えました。

焼

きもの
づくり



すえの 末野遺跡第5号窯跡



すえき 須恵器



のきまるがわら 軒丸瓦



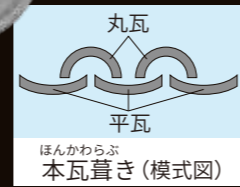
登り窯操業イメージ図



溶着不良品



のきひらがわら 軒平瓦



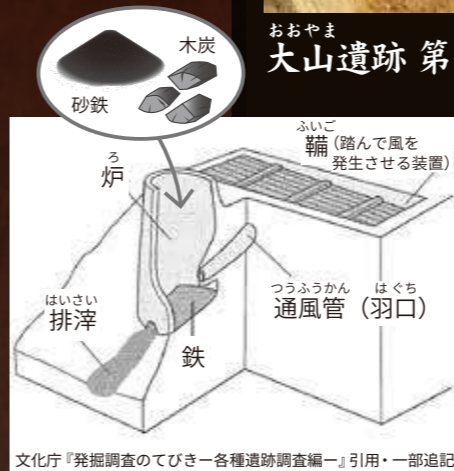
すえの 寄居町末野遺跡からは、古墳時代から古代の窯跡が見つかり灰原から大量の須恵器が出土しました。奈良時代になると、一般家庭にも須恵器の器が普及しました。専門の職人である工人こうじんが大きな登り窯で焼きました。

鉄

の道具
づくり



おおやま 大山遺跡 第12次調査 第3号製鉄炉



文化庁『発掘調査のてびき—各種遺跡調査編—』引用・一部追記

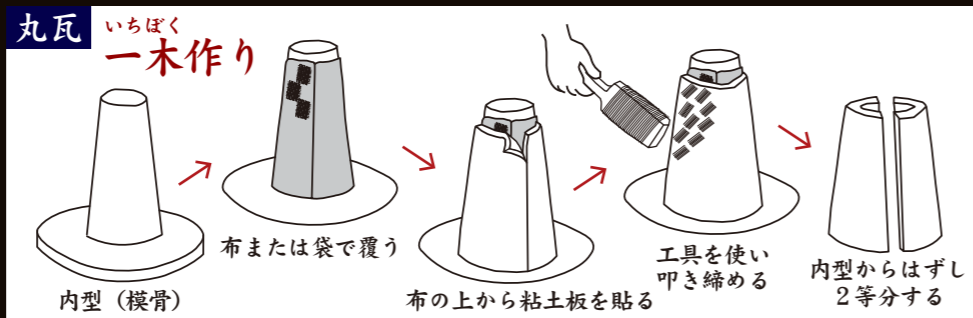
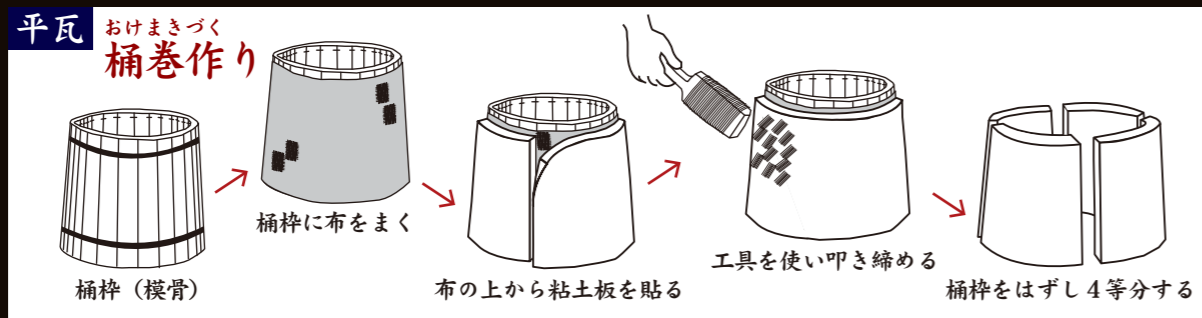


製鉄炉操業イメージ図

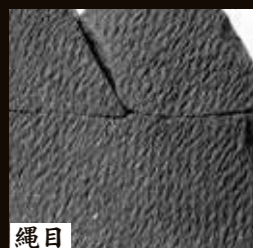
埼玉では7世紀の末頃から製鉄が始められました。最初期の7世紀の末から8世紀の初頭は箱形炉が用いられていましたが、8世紀の前半から豎形炉が導入され、以後多く作られます。伊奈町大山遺跡では、8~9世紀の豎形炉が28基検出されました。

瓦

かわら
づくり



格子目 瓦表面の 工具の痕跡



縄目 瓦表面の 工具の痕跡



布目 瓦表面の 布の痕跡

窯では、瓦も製作され、寺院や役所に供給していました。埼玉では、平瓦は7世紀の後半から8世紀の前半までは桶巻造りで製作されていました。奈良時代からは一枚造りで製作されました。一方、丸瓦は一木造りで製作され続けました。

糸

づくり



紡錘車使用風景



『春日権現験記絵』(鎌倉時代末頃成立)をトレース



ぼうすいしゃ 紡錘車(滑石製)

律令国家では、布は税として国に納められていました。古代の遺跡からは、しばしば滑石製の紡錘車や鉄製の軸のついた紡錘車が出土します。軸の頭にわた状の繊維をかけて、回転させて撚りをつけることで布の材料となる糸を作ります。

ぼうすいしゃ 紡錘車(鉄製)